

令和2年度宮崎県障害者施策推進協議会 議 事 概 要

1 日 時

令和2年10月16日（金） 13時30分～16時00分

2 場 所

宮崎県庁本館2階 講堂

3 出席者

福本会長、読谷山委員、山村委員、田中委員、瀬戸山委員、重黒木委員、川越委員、中島委員、小島委員、佐藤委員、近藤委員、井島委員、養毛委員、川野委員、山下委員、木野委員、時任委員、押川委員

4 欠席者

安田委員、松浦委員

5 議 事

- (1) 宮崎県障がい者計画の進捗状況の報告
- (2) 第6期宮崎県障がい福祉計画及び第2期宮崎県障がい児福祉計画の策定について
- (3) その他

6 議事概要

(1) 宮崎県障がい者計画の進捗状況の報告

委 員	中途失明の方が多くなってきているため、関連団体では県内の26市町村をまわって情報提供を行ってきたが、行政との話がうまく進んでいない面もある。 今年にはコロナの影響により活動できていないので、情報提供できるように支援してほしい。
事務局	自治体の理解促進が進むよう、これからも話をしていきたい。

(2) 第6期宮崎県障がい福祉計画及び第2期宮崎県障がい児福祉計画の策定について

委 員	地域生活支援拠点等の整備数について、令和2年度末で7か所以上という目標で進められてきたが、現在2か所にとどまっている。 今後、重要性は増してくるが、未達成の課題や解決策について説明してほしい。
-----	---

事務局	<p>実績としては2か所だが、来年の4月までに何か所か整備の予定があり、順調にいけば7か所以上という目標は達成できるのではないかと考えている。</p>
委員	<p>重症心身障がい児（者）の医療型短期入所は、県北及び県西に1か所もないという状況が続いており、非常に切実な要望の声が上がっている。</p> <p>この計画で反映させることはできるか。</p>
事務局	<p>資料7のP12に日中活動系サービスについての記載があり、その中に短期入所（医療型）の記述がある。</p> <p>今後もニーズの高いサービスであるのことがいえ、ニーズとギャップがあることが課題であると考えている。</p> <p>P36の「指定障害福祉サービス、指定地域相談支援、指定計画相談支援及び障害児支援の種類ごとの必要な見込量の確保のための方策」において、必要な量に対してどのようにやっていくのか検討したいと考えている。</p>
委員	<p>児童発達支援センターの数について、利用者が毎日通うことができないセンターもある。</p> <p>設置の数も、もちろん大事であるが、毎日通う場所というところも意識していただきたい。</p>
事務局	<p>数だけでなく、サービス面も意識して、設置の働きかけをしていきたい。</p>
委員	<p>精神障がい者が退院したとしても、サポートする人がいないであるとか、住む場所がないとか、退院できない理由が様々であり、そうした点が置き去りにされ、目標値ありきになっていることが気になる。</p> <p>入院後3か月時点の退院率、6か月時点の退院率、1年後の退院率の目標値を定めることとなっているが、退院させられない人も多数いる。</p>
事務局	<p>しっかりと治療しなくてはならない患者もいるので、そういった方々は期間にとらわれることなく、入院治療を行っていただきたいと考えている。目標に関する取組、それ以外の目標を設定していない取組も含めて、しっかりと取り組んでいきたい。</p>
委員	<p>障がい者の地域移行について、施設から地域へ移行した際に、事業所では介護をする職員が足りていない状況がある。</p> <p>一番大事なのは、民生委員など近くの人の手を借りることで、みんなの総力でやっていけるような福祉のまちづくりができればよいと思う。</p>

(3) その他

委員	<p>コロナの影響により、自宅にいながら仕事をしていく世の中が継続しそうである。</p> <p>障がい者の雇用率について、自治体が目標をなかなか達成できなかつたり、せつかく障がい者の方が勤めても残念ながら長続きしないケースもある。</p> <p>こうした課題を解決するのが、テレワークだと思っている。</p> <p>県全体でも、テレワークによって、就労の選択肢を広げる機運づくりをしてもらいたい。</p>
事務局	<p>県においても、障がい者の在宅の就労支援を以前から実施してきている。</p> <p>また、障害福祉サービス事業所においても、在宅での事業が増えてきているので、支援を行っていききたい。</p>